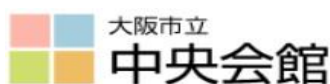


## 2019年度 第5回 レフェリー塾のご案内

1. 目的： 関西協会および関西各府県協会所属の意欲ある審判員に対して、自主的な研修・研鑽の場を提供し、審判技術の向上、知識の充実、モチベーションの増強をはかる。
2. 参加資格： 関西協会および関西各府県協会 所属審判員 ならびに インストラクター
3. 日程： 2019年5月～2020年3月（8月を除く）、全10回 各月の第4木曜日 19:00～21:00  
10/24, 11/23, 12/26, 1/24, 2/27, 3/26

4. 会場： （大阪市内・毎回参加者にメール等で通知）

### 第5回 10/24（木）の会場



大阪市中央区島之内 2-12-31 ☎ 06-6211-0630

地下鉄堺筋線・長堀鶴見緑地線 長堀橋駅 徒歩7分

5. 参加料： 通年3,000円 ※ユース審判員は1,000円
7. 追加申込： 途中からの参加も可能。（参加料は通年と同じ）
8. 申込方法： 以下の各項目を明記の上、担当大歳まで事前申し込みをして下さい。

①氏名 ②所属府県 ③審判資格（級） ④メールアドレス ⑤携帯電話番号

追加申込・その他 レフェリー塾に関するお問い合わせ 担当；大歳 ohtoshi@r3.dion.ne.jp



### 前回（第4回 9/26）はこんなことをしました。

□ 8月 塾はお休み。夏の間に夫々が経験したことを振り返っていただき、参加者の前で披露していただきました。

- ⊕ 息子さんのチームと一緒に日本海の町で開かれた大会に参加されたこと。 ⊕ 皇后杯・関西予選でみた梶山さんの笛；オーラがあった！ ⊕ 4種の女子の大会の審判を割当ててもらった。普段は一人審判をしているので、3人制での動きに戸惑った。 ⊕ 地元で行われた全国大会に副審として参加した経験。 ⊕ 女子の審判員の真面目な取り組みを目の当たりにしたこと。 ⊕ ユースの非公式な大会だったが、試合後 選手ひとりひとりが審判の目を見て「ありがとうございました」と言ってくれたこと。 ⊕ 9月に入って新ルールが適用されるのに、チームのメンバーには伝えられていなかったこと。 ⊕ 関西リーグのアセッサー割当。現場では肘が当たっていることを確認できなかった。映像で確認するとKIにするべき事象だとの指摘をいただいた。 ⊕ 大阪のトレセンU-15 チームに帯同して韓国へ行き、中国 vs 韓国というカードを担当したが、…。 ⊕ 大阪社会人のゲームで「おまえ初心者やんけ」と選手から言われた話。 ⊕ 新ルールに関するはなし、等々など……。

⊕ レフェリー塾に参加してくださっている皆さんが、積極的に審判活動に携わっていただいていること。積極的な参加の姿勢がアピールできれば、体験できる場がどんどん確実に広がっていていること。そして、夫々の体験を通して皆さんが感じ・考え、審判とのかかわりをより濃密なものにしていてくれていることを感じました。（大）

□ 後半は、「競技規則の改正」ハンドの反則に絞って、「“ルール改正でハンドはどう変わったのか”を審判ではない人（例えば4種のチームの応援に来る保護者サポーター）に判り易く説明する。」という課題に挑戦してもらいました。ねらいは2つ。

- 人に説明するには、**充分な理解が必要** 一競技規則を読んでただ覚えるのではなく、書かれていることを整理して理解する習慣を身に付けて欲しい。
- **より判り易く伝える技術** 一説明の構成、言語以外の利用（例えば視覚）、話し方（スピード・間合い・声…）を体験してもらい その重要性に気づき 興味を持ってもらう。

まず、グループで競技規則の改正について、判り易く人に伝えるために どうすればいいのかを考えてもらい、

次に、4種の子どものもつお父さんに扮した人に説明してもらいましたが……。

ねらいのひとつ目 文字・文章で書かれた競技規則を **整理して理解する** ことが、思っていたよりもずっと難しいことだと感じさせられました。（和）